

第38回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第38回全日本実業柔道個人選手権大会は8月30日～31日の両日、兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。男子8種目（7体重制と22歳未満の部）615人、女子7種目135人の計750人、過去最多エントリーの昨年を更に23人上回る大規模な大会となった。選手諸君は所属チーム応援団やちびっ子の声援を背に受け、6試合場で熱い戦いを繰り広げた。



開会式であいさつする森 大会副会長

初日の開会式は9時30分開始。米田圭佑大会副委員長の開会宣言、国歌斉唱の後、森詳介大会副会長の開会挨拶、来賓紹介、保田 薫尼崎市教育長の来賓挨拶、白井文尼崎市長からの祝電披露、渡辺軍三審判長の試合上の注意、前年度女子57kg級優勝、コマツ岩田千絵選手の選手宣誓と続き、チームに帯同の北京オリンピック女子メダリスト3名（上野雅恵、谷本歩実、中村美里）を紹介して式を終え、10時から試合を開始した。

さて、初日の結果、男子66kg級は鳥居智男5段（了徳寺学園）が2度目の三連覇、旧65kg級と併せて計6度目の優勝を遂げた。60kg級は小川武志5段（了徳寺学園）が4年連続5度目の優勝。81kg級は中量級ながら今年の全日本選手権で活躍した谷口徹3段（旭化成）が一年に続く2度目の優勝。73kg級は昨年準優勝の千葉大介3段（旭化成）、22歳未満は木藤翼2段（東レ・滋賀）がそれぞれ初優勝した。女子48kg級は宝真由美2段（コマツ）が4年連続4度目の優勝。57kg級は宮本樹理2段（了徳寺学園）が一年前に続く2度目の優勝。52kg級は近藤優子3段（S・T・O）が初優勝した。

最終日、男子90kg級は増渕樹3段（旭化成）がオール一本勝で初優勝。100kg超級は大型新人の立山広喜4段（日本中央競馬会）、100kg級でも新人の森本翔太3段（了徳寺学園）がそれぞれ新人での優勝を飾った。女子63kg級では上野順恵2段（三井住友海上火災保険）が二連覇、5度目の優勝を果たし、70kg級では新人の今井優子3段（了徳寺学園）、78kg超級では今大会初出場の杉本美香2段（コマツ）、78kg級では鳥谷部真弓2段（セコム）がそれぞれ嬉しい初優勝を遂げた。



全国各地から出場した選手が集う開会式



選手宣誓する岩田選手（コマツ）

男子100kg超級

”巨軀を生かして勝ち上った立山が決勝戦を一本勝で制す“

進境著しい旭化成木村は、初戦の2回戦での不戦勝の後、危なげなく準決勝戦に駒を進める。昨年の覇者村上との一戦に興味を持たれたが、村上は直前の準々決勝戦で元々痛めていた膝を悪化させて欠場。木村は労せずして決勝戦に初進出を果たす。

一方、2回戦から登場した日本中央競馬会、期待の新人立山は、堂々たる体軀を生かして勝ち上がり、準決勝戦ではオール一本勝で勝ち進んだ京葉ガスの市川と対戦。序盤、互いに攻撃なく共に指導2を受けた後、立山が市川の背負いを潰して有効を奪えば、市川は終盤、反撃の支釣込足が潰れて立山に覆い被さられた時、左膝を痛めて試合を棄権。立山が決勝戦進出を決めた。

決勝戦は立山左組み、木村右組みの組み手争いで始まる。立山は左で奥襟を取り、右で引き手を狙うが、木村はこれを許さず、右釣り手で立山の前襟を握り、立山の動きを封じる。中盤に入っても、木村は右釣り手で立山の動きを制しながら、大内刈、体落、足車等、攻勢に試合を進める。ところが、木村優勢で試合が進む4分3秒、木村が勢い込んで、棒立ち気味の体落に入ると、立山は待つていたとばかり、木村を左に大きく振りながら小外掛で身体を浴びせながら返して一本を奪う。立山が初出場を優勝で飾る。



優勝した立山選手
(日本中央競馬会)

【成績】

優勝 立山広喜 (日本中央競馬会)
準優勝 木村 純 (旭化成)
第3位 村上和幸 (総合警備保障)
第3位 市川裕司 (京葉ガス)

▽準々決勝

○村上 横四方固 松山 (旭化成)
○木村 大内刈 船津 (新日鐵・広畑)
○市川 小外刈 大鋸 (旭化成)
○立山 優勢勝 森田 (新日鐵・広畑)

▽準決勝

○木村 不戦勝 村上
○立山 負傷棄権 市川

▽決勝

○立山 小外掛 木村

立山の話
社会人一年目の年、今大会は私自身が本年度の目標に掲げた大会の一つでもあり、是非でも勝つという強い気持ちで大会に臨みました。大会では厳しい戦いもありましたが、4月から社会人として環境も変わりましたが、柔道の両立を図り、内容の濃い稽古を積んでこれたことで精神的にも強くなれたことが、今大会の勝因のひとつに挙げられます。私自身の勝因の他にも嬉しいと感じており、周りの方々からの指導の御蔭と感謝しております。これからもこの気持ちを忘れず、今後はこの結果に満足することなく、自分の課題克服と目標達成に向け日々精進して参りたいと思います。

男子100kg級

”新人森本は立って良し、寝て良しの柔道で初V“

総合警備保障のベテラン近野は、オール一本勝で準決勝戦に勝ち上がる。準決勝戦では、大内刈、小外刈、内股で一本勝を重ねて来た僚友の濱上と対戦。前半は膠着状態が続くが、中盤の2分40秒に、近野は意表を衝く朽木倒で一本勝を奪い、自身3度目の決勝戦進出を果たす。

片や、了徳寺学園の新人森本は、寝て良し、立って良しのオールラウンドな柔道で、順調に勝ち進む。粘り強い柔道で勝ち上がった東芝の奥井との準決勝戦では、右同士の組み手争いが続く1分13秒、森本は低い体勢からの肩車を仕掛けるや、これを堪えた奥井の足を持ち、立ち上がりながらそのまま転がして技ありを奪い、決勝戦へ駒を進める。

ベテランと新人の決勝戦。右組み同士の戦いは、1分16秒、組み際に引き手を握った森本が左引き手と右釣り手で近野の右腕を抱え込み、近野が堪えるところを構わず強引な巻込で有効を奪う。その後も組み際に技を繰り出す森本に翻弄された近野は攻撃の機会を見せず1分43秒に指導1を受ける。そして残り1分を切った所で、森本は一本背負投を残して伏せた近野を巧みに裏返して、残り48秒に横四方固で抑え込む。一本勝で森本も初出場、初優勝を遂げる。



優勝した森本選手
(了徳寺学園)

【成績】

優勝 森本翔太 (了徳寺学園)
準優勝 近野貞治 (総合警備保障)
第3位 濱上耕平 (総合警備保障)
第3位 奥井真也 (東芝)

▽準々決勝

○近野 横四方固 細田 (戸高範聖社)
○濱上 優勢勝 林 (京葉ガス)
○森本 優勢勝 中濱 (京葉ガス)
○奥井 優勢勝 出口 (旭化成)

▽準決勝

○近野 朽木倒 濱上
○森本 優勢勝 奥井

▽決勝

○森本 横四方固 近野

森本の話
私は今大会にあたって、絶対に優勝するという強い決意を持って試合にのぞみました。今回優勝できたのは、了徳寺学園をはじめ、筑波大、家族、友人などの支えがあったからだと思っています。また、了徳寺学園に所属し、今大会を優勝できたことは私の誇りです。これに満足せず、これからも頑張っていきたいです。応援ありがとうございます。

男子90kg級 “増測、大技で一本勝を重ね、堂々の初優勝”

過去、三連覇を果たした旭化成の齋藤は、ベテランらしい柔道で接戦を制して勝ち上がり、昨年のチャンピオン了徳寺学園の矢寄と準決勝戦で対戦。試合巧者同士の戦いは、齋藤が2分40秒に指導1を受けた矢寄を退け、決勝戦に進出した。

対する期待の新鋭旭化成の増測は、豪快な投技のみならず素早い寝技も見せて準決勝戦までオール一本勝で進出。準決勝戦では、僚友の角地と対戦し、2分50秒得意の内股一本で角地を降し、堂々決勝戦へ。

決勝戦も同じチーム同士、先輩後輩の対決。3度の優勝を誇るベテラン齋藤に、伸び盛りの増測が挑む興味深い一戦。齋藤右組み、増測左組みのケンカ組み手で、互いに組み合って様子を窺う中、29秒最初に動いた齋藤の巴投と増測の左足からの仕掛けが交錯し、結果、大内刈を受けた体勢で自爆気味に背中を着いた齋藤に有効が宣告され、増測が幸運な先取ポイントを手上げる。その後、組み手を制した増測が、左内股、右一本背負投で、続けざまに技あり、有効を奪う。この一方的な展開に、齋藤は、猛然と肩車、内股で反撃するも果たせず。迎えた3分18秒には、齋藤の奥襟を狙う組み手をかいくぐった増測が、大内刈の体勢から内股に変化すれば、齋藤の体は宙に浮き背中から畳に沈む。増測は見事な内股で初優勝を果たす。



優勝した増測選手
(旭化成)

増測の話
今回優勝することが出来て嬉しく思っています。この優勝は常に周りで支えてくれている人々や、私が柔道をしていることを理解し、応援してくれる職場の皆様、私を雇ってくれた会社、監督、コーチ、柔道部の母ことマネージャーの橋口さん、皆さんのご協力のおかげです。感謝しています。
この結果に満足することなく、これからもっと練習して、考えて、さらに良い結果を出せるように1日を大切にして生活していきます。

【成績】

- 優勝 増測 樹 (旭化成)
- 準優勝 齋藤制剛 (旭化成)
- 第3位 矢寄雄大 (了徳寺学園)
- 第3位 角地信太郎 (旭化成)

▽準々決勝

- 矢寄 優勢勝 河原 (京義カス)
- 齋藤 大内刈 小野 (総合警備保障)
- 角地 優勢勝 平田 (了徳寺学園)
- 増測 腕挫十字固 齋藤 (新日鐵・広畑)

▽準決勝

- 齋藤 優勢勝 矢寄
- 増測 内股 角地

▽決勝

- 増測 内股 齋藤

男子81kg級 “谷口が多彩な技で、接戦をものにして2度目の優勝”

最多11名のエントリーとなった激戦のこの階級は、激しいサバイバル・ゲームとなった。

アルゼ仲田は稲澤、塘内等の並み居る強豪を退けて勝ち上がり、準決勝戦では多彩な立ち技を駆使してオール一本勝で勝ち上って来たアドリアインターナショナルの対戦。試合は中盤までは淡々と進むが、丁度3分が経過した時点で、しっかりと組み止めた仲田が左体落で大平を叩きつけ、一本勝で決勝戦進出を決める。

一方、今年の全日本選手権で活躍した旭化成谷口は多彩な技で接戦をものにして勝ち上がる。一本勝を積み上げて勝ち進んだ了徳寺学園の武藤との準決勝戦では、武藤を足技で翻弄、最後は体落を豪快に決め、2度目の決勝戦に進出。

左組み手同士の争いとなった決勝戦では、激しい組み手争いから、谷口は大外刈、肩車、背負投、体落の多彩な技で激しく攻め、防戦に回った仲田に2分54秒指導1。ポイントをリードした谷口は、その後も仲田の反撃を封じ、一昨年に続く2度目の栄冠を手にした。



優勝した谷口選手
(旭化成)

谷口の話
今大会を優勝する事が出来てとても嬉しく思っています。去年は不甲斐無い結果だったので今年は優勝しかなと思っていました。また、今回81kg級は実力のある選手が多く参加していたということもあり、その中での優勝は自信につながる結果になりました。そして、課題として自分の柔道を貫き、全力で優勝を目指し頑張ります。

【成績】

- 優勝 谷口 徹 (旭化成)
- 準優勝 仲田直樹 (アルゼ)
- 第3位 大平紘嗣 (アドリアインターナショナル)
- 第3位 武藤力也 (了徳寺学園)

▽準々決勝

- 大平 内股 石橋 (日体大柔友会)
- 仲田 裏投 塘内 (旭化成)
- 武藤 優勢勝 山本 (九州電力)
- 谷口 優勢勝 稲葉 (タイコ)

▽準決勝

- 仲田 体落 大手
- 谷口 体落 武藤

▽決勝

- 谷口 優勢勝 仲田

男子73kg級

“激しい戦いを制した千葉が、鮮やかな足技で嬉しい初優勝”

昨年準優勝、今年こそと意気込む旭化成千葉は、初戦の2回戦こそ寝技一本勝で制したものの、続く3回戦からは時間一杯を費やす消耗の激しい戦いの連続。これを勝ち抜いての準決勝戦で、関南クラブの西野と対戦。千葉と同じような経過を経て勝ち上がった西野に対し、千葉は寝技の攻防を経た後、中盤に大内刈で技ありを奪い、決勝戦進出を果たす。

片や、豪快な投げ技のオール一本勝で破竹の勢いの戸高鋦業社赤迫は、準決勝戦で小柄ながら接戦を制して勝ち進んで来た立岡に対し、開始早々奥襟を取っての強引な払腰で有効を奪う。赤迫はその後、安全運転に切り替えて決勝戦に初進出。

決勝戦。千葉は左組み、赤迫は右組みのケンカ組み手。引き手を探り合う展開で時間が経過し、両者に指導1。その後互いに組み始め、攻防の激しい残り30秒過ぎ、赤迫は素早く左に移りながら払腰をしかけようとして右足を右前に伸ばした瞬間、千葉は俊敏に反応し、左足で赤迫の右足を払うと、残り25秒赤迫は背中から宙に浮き、そのまま落下。千葉、送足払を鮮やかに決め、昨年の無念を晴らして嬉しい初優勝。



優勝した千葉選手
(旭化成)

千葉の話

去年、準優勝と大変悔しい思いをしているので、必ず優勝すると意気込んで試合に臨みました。しかし、2回戦で道着の裾に指が入り捻挫というアクシデントに見舞われてしまいました。2回戦以降は試合内容も最悪の内容でしたが、そんな状況の中で優勝できたということは、すごく自信になりました。去年に比べ精神的に成長できたと感じました。今後は技の精度を磨いて、講道館杯で上位争いに参加したいです。

【成績】

優勝 千葉大介 (旭化成)

準優勝 赤迫諒介 (戸高鋦業社)

第3位 西野公章 (関南クラブ)

第3位 立岡 稔 (至勢会柔道クラブ)

▽準々決勝

○千葉 優勢勝

島 (徳道学園)

○西野 優勢勝

黒岩 (了徳寺学園)

○立岡 優勢勝

河野 (日本通運)

○赤迫 背負投

田口 (和歌山柔道会)

▽準決勝

○千葉 優勢勝

西野

○赤迫 優勢勝

立岡

▽決勝

○千葉 送足払

赤迫

男子66kg級

“ベテラン鳥居、執念の柔道で2度目の三連覇、偉業達成”

二連覇中の鳥居は、計算し尽くした巧みな試合運びで接戦を制し、準決勝戦に駒を進める。準々決勝戦で強豪米富を降して勝ち上がった僚友の横口との準決勝戦では、横口にリードされた鳥居が、前へ前へと圧力を掛け続け、残り4秒に横口から指導1をものに取、引分に持ち込む。ゴールデン・スコア方式の延長戦に入っても、鳥居は積極的に内股、背負投、巴投を掛け続けると、遂に2分58秒横口に指導が来て、鳥居が決勝戦進出を果たす。

対する昨年の決勝戦で鳥居に苦杯を喫した旭化成寺居は、初戦の2回戦、3回戦共に延長戦にもつれ込む苦しい戦いから、尻上がり調子を上げ準決勝戦へ。準決勝戦の新日本製鐵・広畑の古賀戦では、両者ポイントを取らず、ようやく時間切れ寸前に古賀に指導1が与えられ、寺居が勝利を収める。

昨年に続く対戦となった決勝戦では、鳥居は一本背負投、巴投、飛び十字、対する寺居が小外掛、小内刈、内股の激しい応酬が続く。両者ポイント無く延長戦に入るかと思われた4分30秒、疲れを見せない鳥居は、組み際に右変形に組み止めようとする寺居の横から、低く飛び込み、両手刈から小外刈で左足を掛けながら体を捨てて寺居を斜め後ろに倒す。これが有効となり、鳥居が今年も寺居を制す。2度目の三連覇を果たしたベテラン鳥居は、賞賛するに余りある旧65kg級と併せ通算6度目の栄冠。



優勝した鳥居選手
(了徳寺学園)

鳥居の話

お陰様で、本年度で35歳になる今も、現役生活を続けさせて頂いております。今回で2度目の三連覇、計6度目の優勝をさせて頂きました。これも関係者各位、並びに応援させて頂いている皆様方のお陰だと心より感謝しております。最初に優勝したのは1997年で株式会社上組に所属、その後横浜そうこう在籍で優勝した年もありました。現在は了徳寺学園に所属し、東海大学で練習をさせて頂いております。柔道が好きなので、これからも出来る限り挑戦し、自分の限界に挑んでいきたいと思っています。

【成績】

優勝 鳥居智男 (了徳寺学園)

準優勝 寺居高志 (旭化成)

第3位 横口大志 (了徳寺学園)

第3位 古賀博輝 (新日鐵・広畑)

▽準々決勝

○鳥居 優勢勝

浅野 (自衛隊体育学校)

○横口 優勢勝

米富 (新日鐵・広畑)

○寺居 すみ返し

莊司 (紀宝柔道会)

○古賀 後袈裟

田畑 (ゼンコー)

▽準決勝

○鳥居 優勢勝

横口

○寺居 優勢勝

古賀

▽決勝

○鳥居 優勢勝

寺居

男子60kg級

“小川が3度の僚友決戦を制し、輝く四連覇、V5達成”

三連覇中の了徳寺学園の小川は、準々決勝戦までの3試合をオール一本勝で順調に勝ち進む。準決勝戦では寝技を駆使して勝ち上がって来た長身新鋭の秋大柔道クラブ飯田に、終盤までもつれるも、残り12秒に、小川は攻撃を仕掛けた飯田の軸足に足を掛けて切り返して効果を奪い、決勝戦進出を決める。

一方、二度の決勝戦対決で小川に苦杯を喫している僚友の佐々木は、接戦を勝ち抜き準決勝戦へ。ここでは、寝技の攻防の後の2分30秒、川住が崩れた所を送襟絞で一本を奪い、小川との三度の対決を迎える。

決勝戦。佐々木が背負投、巴投で素早く仕掛け、小川はこれをかわして寝技で攻める攻防に終始して引き分ける。ゴールデン・スコア方式による延長戦に入り、一転して小川が攻勢に出る。1分3秒、先に左で組んだ佐々木に、小川が体を低く潜らせて左小内刈から巻込みながら、左手で佐々木の踵を抱き込めば、一旦体を左に振って残した佐々木は、小川の圧力に押され尻から倒れる。効果の宣告で試合終了。小川、見事な四連覇。5度目の優勝を飾る。



優勝した小川選手
(了徳寺学園)

小川の話

今大会で勝てたのは、応援してくださった方々のお陰であり、また、了徳寺学園でたくさんのお陰だと思います。関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱい입니다。この優勝を自信にし、また頑張ります。

【成績】

優勝 小川武志 (了徳寺学園)

準優勝 佐々木伸次朗 (了徳寺学園)

第3位 飯田哲也 (秋大柔道クラブ)

第3位 川住 基 (ワリシキユリイサービ

▽準々決勝

○小川 合せ技 松本 (白体大柔友会)

○飯田 優勢勝 田中 (星陵高等学校)

○佐々木 優勢勝 村山 (村山警察署)

○川住 優勢勝 佐藤 (聖大柔友会)

▽準決勝

○小川 優勢勝 飯田

○佐々木 送襟絞 川住

▽決勝

○小川 優勢勝 佐々木

男子22歳未満

“木藤は巨体を利用して勝ち上がり、決勝戦も豪快な一本勝で初優勝”

昨年第3位入賞の新日本製鐵・広畑の吉崎は、オール一本勝で準決勝戦に進出し、同じチームの新人小野と対戦。191cm長身の小野もここまでオール一本勝。試合は、吉崎左、小野右の組み手争いが続き、勝負はゴールデン・スコア方式の延長戦に持ち込まれるが、吉崎が1分51秒に小野の小外刈を切り返して効果を奪い、熱戦に決着をつける。対する東レ・滋賀の木藤も払腰、大外刈、内股の大技でオール一本勝して、準決勝戦でグリーンセキユリイサービ坂井と対戦。大兵木藤に短距離の坂井は隠せず挑む。両者堂々の組み手争いを繰り広げるも互いに決まらず。その後、引き手で木藤の腕を掴み離さない坂井に指導1が入る。坂井は背負投、大内刈で反撃するが、木藤にかわされ時間。

決勝戦では、体格で優る木藤が両襟を握って攻めるも吉崎も譲らず。互いに指導を受け合う。最後に木藤に指導3が与えられ、このまま時間終了と思われた残り20秒、左変形に組み止めた木藤が一呼吸を置いて、遠い位置から左足を伸ばし、払腰から体を捻りながら体を捨てると吉崎は畳に沈み、一本。豪快な技を繰り出した巨漢木藤が嬉しい初優勝を遂げる。



優勝した木藤選手
(東レ・滋賀)

木藤の話

全国大会での優勝は、夢であり目標であったので大変うれしく思います。ここまでこれたのは、御指導してくださった先生方や先輩達、応援してくださった職場の方々のおかげだと思っています。私にとって、今回の大会で優勝できたことは気持ちの面で、大きな自信に繋がりました。今後もこの結果に満足することなく日々精進してまいります。

【成績】

優勝 木藤 翼 (東レ・滋賀)

準優勝 吉崎 晃 (新日鐵・広畑)

第3位 小野勇輝 (新日鐵・広畑)

第3位 坂井勇貴 (ワリシキユリイサービ

▽準々決勝

○吉崎 袈裟固 江口 (アイシン精機)

○小野 大外刈 川沼 (了徳寺学園)

○木藤 払腰 岩本 (新日鐵・広畑)

○坂井 優勢勝 藤原 (まるとや警察署)

▽準決勝

○吉崎 優勢勝 小野

○木藤 優勢勝 坂井

▽決勝

○木藤 払腰 吉崎

女子78kg超級

“本大会初出場の杉本が地力を発揮してオール一本勝で初V”

本大会に初出場のコマツ杉本は初戦の1回戦、2回戦を一本勝し、準決勝戦では、2回戦から登場し一本勝を取った昨年の覇者ほのぼの会の馬籠と対戦する。試合は、残り8秒に支釣込足で有効を取った杉本がそのまま寝技に移り、横四方固で一本勝し、決勝戦に進む。

一方、初戦の2回戦を朽木倒による効果で準決勝戦に勝ち上がったヤックスケアサ1ピス清水は、社会福祉法人神流福祉会の長須を1分30秒、右片襟に持ち替え、低い姿勢から左へ振るような背負投で技ありを奪い、そのまま上四方固で抑え込み一本勝で3年連続の決勝戦へ。

決勝戦では、序盤、清水の防御気味の構えに、両襟を握って攻撃の機会を窺っていた杉本が、中盤に入って左引き手で袖を握った1分56秒に右内股で攻め、ワンステップして清水を跳ね上げれば、清水は背中から畳に沈み一本。杉本は全試合一本勝で初優勝を飾る。



優勝した杉本選手
(コマツ)

杉本の話

初出場となった今大会では、優勝したいという気持ちの前に自分の持っているものが、どれほど通用するのかわかりません。今後の大会に繋げられるようにと心掛けていました。そのような意識で試合に挑むことによって、前に出る柔道が出せ優勝という最高の結果も手に入れたので嬉しく思っています。今大会では、自信をつけることが出来、色々なことも得られたので、これから課題も克服し、今後に生かしていこうと思います。

【成績】

優勝 杉本美香 (コマツ)

準優勝 清水伊穂理 ヤックスケアサ1ピス

第3位 馬籠恵子 (ほのぼの会)

第3位 長須三三子 (神流福祉会)

▽二回戦

○馬籠 上四方固 松村 ヤックスケアサ1ピス

○杉本 内股 都丸 (社会福祉法人神流福祉会)

○清水 優勢勝 平岩 (社会福祉法人神流福祉会)

○長須 優勢勝 太田 (北関東社会福祉協議会)

▽準決勝

○杉本 横四方固 馬籠

○清水 合技 長須

▽決勝

○杉本 内股 清水

女子78kg級

“鳥谷部、準決勝戦、決勝戦で強豪を退けて、嬉しい初優勝”

第35回大会チャンピオンの了徳寺学園の長瀬は、1回戦、2回戦共に一本勝を取め、準決勝戦では昨年第2位の新鋭コマツ岡村と対戦する。長身同士の迫力のある一戦は、まず岡村が序盤に内股で効果を奪う。リードされた長瀬は3分丁度に低い姿勢から背負投を決めて、一本勝で決勝戦進出を果たす。

片や、昨年第3位の鳥谷部は、初戦の2回戦を一本勝で勝利し、準決勝戦では過去に皇后盃準優勝の実績を有する強豪のダイコ近藤と対戦。鳥谷部は3分43秒に得意の小内刈で有効を奪い、念願の初優勝に王手を掛ける。

決勝戦は、身長に勝る長瀬が組み際の大外刈を狙い、鳥谷部は動いてこちらも組み際の背負投を掛け合う激しい攻防が始まるが、1分過ぎに鳥谷部が、右手で長瀬の右片襟を握り、両膝着きの低い姿勢の背負投で技ありを奪って、そのまま横四方固に抑え込む。鳥谷部、一本勝で待望の優勝を飾る。



優勝した鳥谷部選手
(セコム)

鳥谷部の話

社会人になり初のタイトルを獲得することができて大変嬉しく思います。今大会は、優勝したいという気持ちがとても強かったのですが、力み過ぎず、マイペースでできた所もあり、最後まで落ち着いて試合できたことが優勝に繋がったと思います。今回優勝できたのも、今まで支えて下さった皆さんのおかげです。本当に感謝しています。まだまだ課題は残っているので、講道館杯までに克服し、みんなに喜んでもらえる試合ができたらと思います。次も優勝目指して頑張ります。

【成績】

優勝 鳥谷部真弓 (セコム)

準優勝 長瀬めぐみ (了徳寺学園)

第3位 岡村智美 (コマツ)

第3位 近藤悦子 (ダイコ)

▽二回戦

○岡村 内股 田淵 (東海旅客鉄道)

○長瀬 背負投 池田 (足利大学)

○鳥谷部 合技 柴野 (社会福祉法人神流福祉会)

○近藤 優勢勝 岡田 (北関東社会福祉協議会)

▽準決勝

○長瀬 背負投 岡村

○鳥谷部 優勢勝 近藤

▽決勝

○鳥谷部 合技 長瀬

女子70kg級

“新人今井が接戦を勝ち抜き、堂々の実業柔道チャンピオンに”

了徳寺学園の新人今井は、初戦の2回戦一本勝、3回戦指導1で準決勝戦に進出。昨年のチャンピオン三井住友海上火災保険の清水との一戦では、手数で清水、組み手で今井の攻防となるが、4分12秒に、清水が左変形から体落を掛け、戻る体勢が崩れて左足が流れた所に今井が乗じて、覆いかぶさって効果をj得て今井の勝利となる。

対するセコム植木は、初戦の2回戦指導1、3回戦一本勝で制して勝ち上がり、準決勝戦で龍谷クラブ高木と対戦。地力で優る植木は、開始10秒で効果ポイントを奪った後も積極的に攻めて、1分53秒には、場外際に追い込んでの大外刈で見事な一本を挙げ決勝戦へ。

決勝戦は、両者、奥標を取り合う攻防が続けるが、徐々に今井の攻勢が強まり、防戦となった植木に2分18秒に指導1。中盤以降は膠着状態となって組み合わない両者に3分48秒、それぞれ指導1と指導2が与えられる。終盤、植木は猛然と挽回を期して攻撃に入るが、その組み合う一瞬の隙を衝いて、残り20秒に今井がj双手刈で効果を加えて初優勝を決める。



優勝した今井選手
(了徳寺学園)

今井の話
初の実業団体戦で優勝できて嬉しく思います。これも応援して下さいだった皆さんの力のおかげで、大きな支えになったからだと思います。この試合での課題を克服して次の目標に向けて練習していきたいと思っています。

【成績】

優勝 今井優子(了徳寺学園)

準優勝 植木順子(セコム)

第3位 清水千晶(三井住友海上火災保険)

第3位 高木真寿美(龍谷クラブ)

▽準々決勝

○清水 横四方固 杉野(金沢学院クラブ)

○今井 優勢勝 高橋(三井住友海上火災保険)

○植木 小外掛 石森(近大クラブ)

○高木 優勢勝 大呂(日本警備サービス)

▽準決勝

○今井 優勢勝 清水

○植木 大外刈 高木

▽決勝

○今井 優勢勝 植木

女子63kg級

“上野、本大会負けなし、無敵のV5達成”

三井住友海上火災保険の上野は、初戦の2回戦を一本勝、3回戦では時間一杯戦い、準決勝戦へ。十全会・回生病院の萩原との対戦は、上野左、萩原は右のケンカ組み手が続くが、萩原が背負投げに來たところを上野が崩し、三角絞の体勢から縦四方固に移行し25秒間抑え込みで決勝戦に進む。

一方、了徳寺学園の川崎は、2試合を一本勝で制しての準決勝戦。三井住友海上火災保険の阿部との一戦は、阿部が左組み、川崎は右組み。激しい技の応酬となったが、2分45秒に阿部が内股から戻るところを、川崎が場外へ押し倒して効果を奪い、これが唯一のポイントとなって、川崎が優勢勝で決勝戦に向かう。

決勝戦は、左右のケンカ組み手の戦い。開始早々、上野が素早く右の引き手を握り、川崎の左引き手が遊んでいる開始19秒に、場外際に得意の低い姿勢の体落で技ありを奪う。その後も上野は、多彩な攻めで川崎を翻弄し、防戦の川崎に2分3秒に指導1が与えられる。上野は川崎に反撃の暇を与えず、終始押し気味に進めるものの攻めきれず試合終了。結局、上野が優勢勝で二連覇、通算5度目のV達成。上野は過去出場した全試合無敗の20連勝。



優勝した上野選手
(三井住友海上火災保険)

上野の話
今回この大会に出場することが決まり、優勝するために練習してきました。北京オリンピックが終わりましたが、あまり調整することができなかったのですが、優勝することができて良かったです。しかし、試合内容は駄目だったので、もっと思い切りの良い試合をしなければならぬと思いました。また試合が立て続けにあるので、それに向けて1つ1つ勝っていききたいと思います。

【成績】

優勝 上野順恵(三井住友海上火災保険)

準優勝 川崎由紀(了徳寺学園)

第3位 萩原美知子(十全会・回生病院)

第3位 阿部香菜(三井住友海上火災保険)

▽準々決勝

○上野 優勢勝 笠原(全国警備保障)

○萩原 内股 三村(ゆうスポーズ)

○阿部 縦四方固 久保(ワイエスロード)

○川崎 払腰 片山(ひらた整骨院)

▽準決勝

○上野 横四方固 萩原

○川崎 優勢勝 阿部

▽決勝

○上野 優勢勝 川崎

女子57kg級

“宮本、決勝戦での接戦を制し、一昨年に続く2度目の優勝”

一昨年のチャンピオン丁徳寺学園宮本は、危なげなく準決勝戦に進出し、3回戦で昨年のチャンピオン岩田を旗判定で降した佐藤と対戦。佐藤の左前襟を右手で掴み、大外刈を繰り出す宮本が、1分8秒には大腰から大きく払込込に変化して有効を奪う。宮本はそのまま執拗に寝技で攻め、遂に3分24秒縦四方固に抑え込む。快勝の宮本が決勝戦に進める。

対する、コマツの宇高も2試合を一本勝で勝利し、セコム滝口との準決勝戦。宇高が、やや優位に試合を進めるが2分44秒両者に指導1。しかしその後、3分34秒に宇高の小外刈が決まり技ありを奪い、宇高が決勝戦に進出。

決勝戦。宮本左組み、宇高右組みのケンカ組み手。お互い引き手が取れず、技の出ないまま時間が経過。1分、1分40秒に双方に指導1、指導2。3分過ぎ、宮本が両襟を持って大腰を連発。頭の下がった宇高に3つめの指導が来る。反撃する宇高は残り18秒、小外掛から宮本の上体を制し、振り回す様に体を捨てながら畳に宮本を打ち据えろと、一瞬決まったかに見えるも、宮本は倒れ込みながら体を捻ってダメージを有効にとどめる。この攻防が勝負の帰趨を決し、宮本が2年ぶり2度目の優勝を果たす。



優勝した宮本選手
(丁徳寺学園)

【成績】

優勝 宮本樹理 (丁徳寺学園)

準優勝 宇高菜絵 (コマツ)

第3位 佐藤佳江 (セコム)

第3位 滝口並穂 (セコム)

▽準々決勝

●佐藤 優勢勝 岩田 (コマツ)

○宮本 崩縦四方固 山本 (肥後銀行)

○滝口 小外刈 徳久 (三井住友海上火災保険)

○宇高 小外刈 石井 (松前柔道クラブ)

▽準決勝

○宮本 上四方固 佐藤

●宇高 優勢勝 滝口

▽決勝

○宮本 優勢勝 宇高

宮本の話
今回、2年ぶり2度目の優勝となりました。実力者が多く参加しているこの大会で優勝する事は、私にとってとても大きな目標でした。これも、どんな時でも私の力を私以上に信じてご指導くださった先生方、家族、仲間の支えがあったからだと思います。この大会で得たものを自分の力にして、次の目標に向かって努力していきたいと思っています。

女子52kg級

“強敵を倒して決勝戦に進出した近藤が、旗判定をものにし初優勝”

昨年第3位に甘んじたS・T・O近藤は、初戦の2回戦を延長戦の旗判定での勝利という苦しいスタートを切ったが、続く3回戦を一本勝で制して準決勝戦に進出。横浜国大柔友会の藤井との対戦は、開始45秒の小外刈の技ありを守って念願の決勝戦進出を果たす。

これに対するは、自衛隊体育学校の小島。2試合一本勝で準決勝戦に進んだ小島は、本大会において57kg級と併せ過去5度の優勝を誇るまや接骨院の岡崎を延長戦で、形勢不利なところを起死回生の小内刈で効果を奪って降し、決勝戦に勝ち上がる。

決勝戦は、右組み同士は共にポイントなくゴールデン・スコア方式の延長戦へ。延長戦に入ると、1分10秒に近藤の背負投のフェイントからの小内巻込に虚を衝かれた小島は尻から倒れ掛かるも辛うじて踏みとどまる。見応えのある攻防に場内が沸く。その後の小島の強烈な反撃も近藤に巧みにかわされ時間切れとなり、近藤が赤旗3本を得て、嬉しい初優勝を果たす。



優勝した近藤選手
(S・T・O)

【成績】

優勝 近藤優子 (S・T・O)

準優勝 小島愛子 (自衛隊体育学校)

第3位 藤井敬子 (横浜国大柔友会)

第3位 岡崎綾子 (まや接骨院)

▽準々決勝

○藤井 双手刈 武田 (日本エースサポート)

○近藤 横四方固 宮本 (OJC)

○小島 小外刈 寛藤 (ヤシスアカサビシ)

●岡崎 優勢勝 松村 (金沢学院クラブ)

▽準決勝

○近藤 優勢勝 藤井

●小島 優勢勝 岡崎

▽決勝

●近藤 優勢勝 小島

近藤の話
今回の優勝は私にとって初の全国大会でのタイトルとなります。実業団4年目にしてやっと勝てたという思いと、夢は願い続けられ少しずつでも形になっていくものなんだと実感した瞬間でもありました。今まで2人3脚でトレーニング、稽古と指導して下さった吉岡先生をはじめ、たくさんの方々を支えられ、応援していただきながらここまでくることができ、本当に感謝しています。11月の講道館杯は日本一を目指し、おこることをなく、気負うことなく食欲に頑張っていきたいと思っています。

女子48kg級

“宝、今年も強敵山岸を僅差で制し、四連覇達成”

三連覇中のコマツ宝は、2試合を一本勝ち準決勝戦へ。十全会・回生病院の平野との一戦は、開始30秒過ぎ、宝の圧力で畳に伏せた平野を巧みに裏返して、縦四方固でつちり固めて一本。宝、難なく決勝戦に勝ち上がる。

一方、昨年は僅差で敗れた三井住友海上火災保険の山岸は、初戦不戦勝、2戦目一本勝ち。準決勝戦は、たんぼ助産院の谷本に、1分25秒小内刈と試合終了間際の縦四方固での効果2ポイントで、決勝戦へ進む。

昨年に続く決勝戦は、宝は右組み、山岸は左組みの両者、互いによく動くものの共に引き手が取れない不十分な組み手。両者共に、組み際の背負投、足払を狙うものの功果なく延長戦に突入する。延長戦では、更に両者の動きが活発になるも、引き手が取れないため十分な技が出ない。あわやの場面もあったもののポイントを奪うに至らず試合終了し、旗判定となる。判定は、手数で勝った宝に旗が三本揃い、宝は見事四連覇を果たした。



優勝した宝選手
(コマツ)

宝の話

今大会では優勝することができ、また四連覇に繋げることができて、大変嬉しく思います。試合では、結果のことは考えずに、まずは目の前の一戦一戦を大事に戦っていかうと思ひ、自分の柔道を心掛けました。結果として、優勝することができ、また自信にも繋がったので、次の大会に向けていい流れが作れたと思っています。ただ、試合内容としては100%満足のいく内容ではなく、反省すべき点や課題も多く見つかったため、これらをしっかりと克服し、目標としている講道館杯での優勝に向けて、自分の柔道を確立させていきたいと思っています。

【成績】

優勝 宝真由美 (コマツ)

準優勝 山岸絵美 (三井住友海上火災保険)

第3位 平野真葉 (十全会・回生病院)

第3位 谷本千恵 (たんぼ助産院)

▽二回戦

○宝 合せ技 末成 (横浜国大柔友会)

○平野 優勢勝 上原 (日本体育大学)

○山岸 体落 大崎 (近大クラブ)

○谷本 背負投 嶋田 (平成管財)

▽準決勝

○宝 縦四方固 平野

○山岸 優勢勝 谷本

▽決勝

●宝 優勢勝 山岸

熱戦風景 1



78kg超級 杉本 内股 清水



100kg超級 立山 小外掛 木村



63kg級 上野 優勢勝 川崎



90kg級 増渕 内股 齋藤

成績表

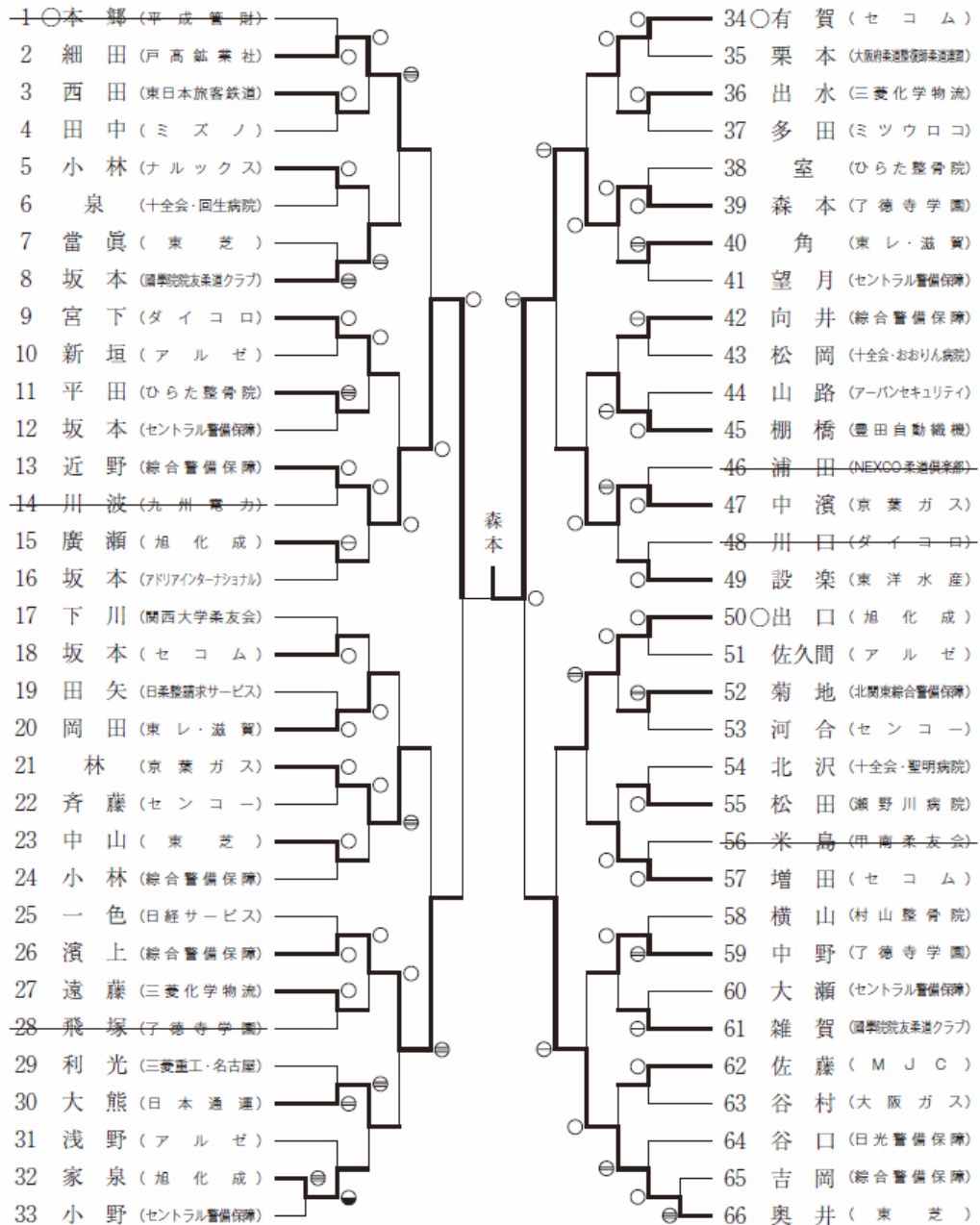
男子100kg超級(77名)

1 ○村 上 (総合警備保障)		39 ○大 鋸 (旭 化 成)
2 高 嶋 (K.Kスポーツ)		40 谷 川 (K.Kスポーツ)
3 吉 田 (セコム上信越)		41 石 丸 (ワイエスフード)
4 秋 田 (福岡医健専門学校)		42 三 浦 (日本エースサポート)
5 辻 (旭 化 成)		43 沼 田 (東レ・滋 賀)
6 竹 本 (新日本製鐵・大分)		44 伊 藤 (セコム上信越)
7 森 (九 州 電 力)		45 小 林 (近 畿 通 関)
8 古 賀 (京 業 ガス)		46 樋 口 (日 本 通 運)
9 小 坂 (日 本 通 運)		47 合 田 (ダ イ コ ロ)
10 松 山 (旭 化 成)		48 ○ 高 橋 (新日本製鐵・広島)
11 筒 井 (平成管財)		49 市 川 (京 業 ガス)
12 佐々木 (早稲田柔道クラブ)		50 中 野 (総合警備保障)
13 木 村 (M-A-R)		51 尾 本 (九 州 電 力)
14 山 崎 (十全会・同生病院)		52 竹 本 (瀬野川病院)
15 鈴 木 (日本中央競馬会)		53 鎮 守 (十全会・同生病院)
16 山 本 (本田技研・熊本)		54 佐 藤 (日本中央競馬会)
17 中 島 (日本エースサポート)		55 菅 井 (セ ン コ ー)
18 高 久 (北関東総合警備保障)		56 松 岡 (本田技研・熊本)
19 石 崎 (日経サービス)		57 田 中 (大 阪 ガ ス)
20 ○ 佐 藤 (了徳寺学園)		58 ○ 紺 野 (京 業 ガス)
21 長 岡 (日本生命保険)		59 森 田 (新日本製鐵・広島)
22 松 平 (大京フーズ)		60 小 林 (東 芝)
23 高 橋 (戸 高 鉱 業 社)		61 石 原 (日 本 通 運)
24 竹 村 (近 畿 通 関)		62 河 野 (旭 化 成)
25 荒 木 (錦秀会 阪和病院)		63 松 原 (十全会・おおりん病院)
26 佐々田 (ダ イ コ ロ)		64 嶺 (九 州 電 力)
27 工 藤 (総合警備保障)		65 横 尾 (日光警備保障)
28 船 津 (新日本製鐵・広島)		66 松 田 (東 北 柔 専)
29 ○ 片 渕 (日本中央競馬会)		67 生 井 (北関東総合警備保障)
30 木 村 (旭 化 成)		68 ○立 山 (日本中央競馬会)
31 南 (九 州 電 力)		69 渡 辺 (京都医健専門学校)
32 山 岡 (十全会・おおりん病院)		70 土 田 (十全会・聖明病院)
33 半 澤 (ワイエスフード)		71 岩 佐 (東日本旅客鉄道)
34 浦 西 (東レ・滋 賀)		72 井 手 (大 阪 刑 務 所)
35 稲 葉 (ア ル ゼ)		73 大 金 (ダ イ コ ロ)
36 石 井 (秋大柔道クラブ)		74 曾 根 (総合警備保障)
37 釘 抜 (大 東 柔 整)		75 尾見谷 (日経サービス)
38 中 村 (吉川工業・名古屋)		76 宮 澤 (東 洋 水 産)
		77 岡 本 (三菱化学物流)

○印はシード選手

成績表

男子100kg級(66名)



○印はシード選手

男子90kg級(86名)

○印はシード選手

○印はシード選手

成績表

男子81kg級(111名)

1	○吉永	(新日本製鐵・広島)		56	○武藤	(了徳寺学園)
2	仙波	(大東柔整)		57	篠岩	(瀬野川病院)
3	長谷川	(大阪府柔道連盟)		58	木下	(国士舘柔道クラブ)
4	真野	(J.R.R.日本テイルネット)		59	森道	(和歌山柔整会)
5	比留川	(高宮接骨院)		60	脇池	(安川電機)
6	日村	(日本通運)		61	小井	(北関東総合警備保障)
7	村猪	(近畿通関)		62	木井	(日体荏原柔道クラブ)
8	藤田	(日本総合メディカル学院)		63	白井	(総合警備保障)
9	柳田	(吉川工業・名古屋)		64	原山	(十全会・同生病院)
10	笠	(肥後銀行)		64	袖岡	(フットワークエクスプレス)
11	太田	(仙台大学柔道クラブ)		66	増岡	(三菱重工・名古屋)
12	中大	(アイシン精機)		67	平野	(近畿通関)
13	大平	(アドリアン・ナショナル)		68	石松	(仙台大学柔道クラブ)
14	龍部	(十全会・おおりん病院)		69	長塩	(井野整形外科)
15	阿部	(了徳寺学園)		70	○渡邊	(自衛隊体育学校)
16	呉	(早稲田柔道クラブ)		71	須藤	(深谷柔道会)
17	高山	(千葉市消防局)		72	大田	(K.K.S.スポーツ)
18	山本	(関西電力)		73	島本	(東レ・滋賀)
19	宮崎	(日経サービス)		74	花本	(京業ガス)
20	田中	(松前柔道クラブ)		75	水落	(松前柔道クラブ)
21	黒河	(総合警備保障)		76	北井	(新日本製鐵・八幡)
22	茅島	(広島大学柔道クラブ)		77	山本	(九州電力)
23	伊藤	(京都医健専門学校)		78	森田	(日東整請求サービス)
24	山下	(三菱重工・名古屋)		79	大森	(建設工業)
25	石橋	(日体大柔友会)		80	武次	(J.F.E.スチール)
26	業師寺	(ツタヤ計画)		81	形部	(関西大学柔友会)
27	和中	(関西医療学園)		82	牧村	(東京消防庁)
28	○塘内	(旭化成)		83	永岡	(東京海上日動火災保険)
29	三本	(育栄資財)		84	○西村	(セコム)
30	入江	(十全会・同生病院)		85	滝澤	(ひらた整骨院)
31	築達	(K.K.S.スポーツ)		86	田田	(日体大柔友会)
32	前田	(錦秀会阪和病院)		87	山田	(K.K.S.スポーツ)
33	斎藤	(JAKE-JAPAN)		88	重松	(常盤岡郷会)
34	徳島	(総合警備保障)		89	岡本	(ゆうスポーツクラブ)
35	鈴木	(豊田自動織機)		90	岡本	(東日本旅客鉄道)
36	新谷	(関西大学柔友会)		91	稲葉	(ダイコロ)
37	新平	(自衛隊体育学校)		92	山城	(関西大学柔友会)
38	升田	(日東整請求サービス)		93	中野	(日経サービス)
39	池崎	(新日本製鐵・八幡)		94	横山	(豊田自動織機)
40	高橋	(井野整形外科)		95	小川	(三菱化学物流)
41	橋本	(群馬総合ガードシステム)		96	畑本	(和歌山柔整会)
42	○仲田	(アルゼ)		97	堀本	(ワイエスフード)
43	稲澤	(ダイコロ)		98	○谷口	(旭化成)
44	篠崎	(九州電力)		99	庄島	(東北柔専)
45	立野	(三菱化学物流)		100	吉田	(十全会・同生病院)
46	星野	(川越少年刑務所)		101	日下	(横浜国大柔友会)
47	三熊	(東日本旅客鉄道)		102	倉山	(三井柔道クラブ)
48	望月	(ワイエスフード)		103	岡本	(M.A.R.)
49	中川	(東芝)		104	山田	(JAKE-JAPAN)
50	松原	(和歌山柔整会)		105	ナウル	(WIN NET TECHNOLOGY)
51	三井	(甲南柔友会)		106	村上	(M.J.C.)
52	上蘭	(ひらた整骨院)		107	土井	(セコム上信越)
53	谷本	(横浜国大柔友会)		108	石井	(セントラル警備保障)
54	佐竹	(ダイニミツカ)		109	山田	(三菱重工・名古屋)
55	軽部	(了徳寺学園)		110	杉行	(肥後銀行)
				111	竹内	(総合警備保障)

○印はシード選手

成績表

男子73kg級(88名)

1	○千葉 (旭化成)		45	○成田 (アルゼ)
2	高橋 (東日本旅客鉄道)		46	竹下 (京橋白木)
3	家田 (ナチュラル)		47	佐伯 (新日本製鐵・八幡)
4	本郷 (自衛隊体育学校)		48	牧瀬 (大東柔整)
5	佐藤 (三菱化学物流)		49	鳥越 (OJC)
6	齋藤 (北関東総合警備保障)		50	松田 (ゆうスポーツクラブ)
7	別府 (日柔整請求サービス)		51	安井 (MAR)
8	尾田 (新日本製鐵・大分)		52	守屋 (豊田自動織機)
9	坂本 (セコム)		53	坂口 (高宮接骨院)
10	渡邊 (クラレ・岡山)		54	米須 (日本生命保険)
11	向野 (MJC)		55	河野 (日本通運)
12	今井 (井野整形外科)		56	福村 (豊田自動織機)
13	松本 (大阪ガス)		57	前澤 (セコム上信越)
14	登里 (ひらた接骨院)		58	樋口 (まるや接骨院)
15	鳥 (講道学舎)		59	野瀬 (サンパシフィック)
16	久保田 (仙台大学柔道クラブ)		60	皿良 (総合警備保障)
17	横山 (ツクバ計画)		61	高野 (神鋼建設ソリューション)
18	加藤 (建築工業)		62	伊東 (東京海上日動火災保険)
19	横井 (関西電力)		63	塚田 (東洋水産)
20	高橋 (松前柔道クラブ)		64	松上 (かなや接骨院)
21	小暮 (群馬総合ガードシステム)		65	矢部 (クラレ・岡山)
22	野々部 (豊田自動織機)		66	立岡 (至勢会柔道クラブ)
23	○西野 (四南クラブ)		67	○大東 (旭化成)
24	濱上 (豊田自動織機)		68	田山 (大末建設)
25	吉蘭 (ダイコロ)		69	田口 (和歌山柔整会)
26	横田 (総合警備保障)		70	上林 (早稲田柔道クラブ)
27	向井 (吉川工業・名古屋)		71	青柳 (東京消防庁)
28	瀬戸 (テラレッツ)		72	岩崎 (新日本製鐵・八幡)
29	村田 (瀬野川病院)		73	菅沼 (北関東総合警備保障)
30	板川 (日本通運)		74	曾我 (吉川工業・名古屋)
31	本 (セントラル警備保障)		75	田中 (東芝)
32	磯 (東レ・滋賀)		76	延島 (まるや接骨院)
33	岩田 (東京消防庁)		77	沖田 (九州電力)
34	原田 (新日本製鐵・八幡)		78	珠玖 (近畿通関)
35	松浦 (日本エースサポート)		79	重原 (関西電力)
36	安達 (豊田自動織機)		80	田窪 (清美学園)
37	岡本 (東芝)		81	赤迫 (戸高鉱業社)
38	黒岩 (了徳寺学園)		82	加古 (神戸柔道クラブ)
39	樋口 (早稲田柔道クラブ)		83	植田 (総合警備保障)
40	明先 (まるや接骨院)		84	金杉 (秋元道場)
41	尾保手 (関西大学柔整会)		85	高本 (K.Kスポーツ)
42	齋藤 (K.Kスポーツ)		86	井上 (ツクバ計画)
43	寺居 (同志社WJJC)		87	太田 (豊田自動織機)
44	小原 (四国武道大学柔整会)		88	八山 (群馬総合ガードシステム)

○印はシード選手

成績表

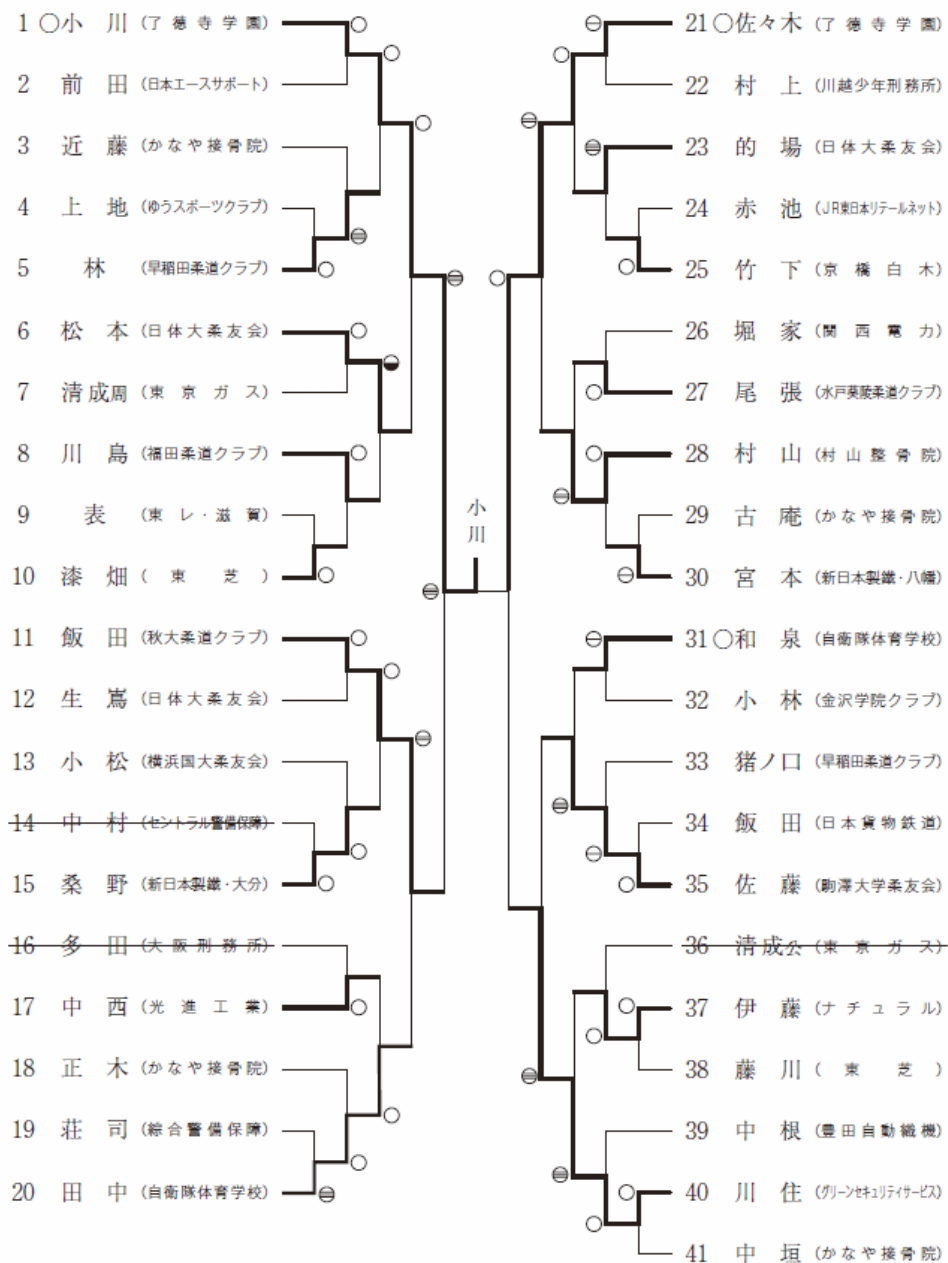
男子66kg級(87名)

1 ○鳥居 (了徳寺学園)		44 ○寺居 (旭化成)
2 松尾 (日本通運)		45 望月 (セコム)
3 成澤 (セコム上信越)		46 榎本 (アルゼ)
4 菊田 (東日本旅客鉄道)		47 西倉 (日本整骨サービス)
5 木内 (JRE東日本ネット)		48 高須 (豊田自動織機)
6 羽佐田 (トヨタ自動車)		49 亀崎 (東京消防庁)
7 石川 (アルゼ)		50 川上 (まると接骨院)
8 高橋 (新日本製鐵・大分)		51 高野 (九州電力)
9 赤木 (東洋水産)		52 青木 (スポーツ会館)
10 中山 (大阪ガス)		53 阿部 (国士舘柔道クラブ)
11 阿座上 (WIN NET TECHNOLOGY)		54 長野 (総合警備保障)
12 山本 (総合警備保障)		55 松井 (錦秀会 阪和病院)
13 小野 (スポーツ会館)		56 川上 (三菱重工・名古屋)
14 鈴木 (ナルックス)		57 野津 (クラレ・岡山)
15 浅野 (自衛隊体育学校)		58 今澤 (神戸柔道クラブ)
16 近藤 (ナチュラル)		59 半澤 (日本エースサポート)
17 玉田 (豊田自動織機)		60 内藤 (ひらた整骨院)
18 萩原 (ひらた整骨院)		61 木部 (総合警備保障)
19 奥 (坂井印刷)		62 市名 (トヨタ自動車)
20 池田 (ミズノ)		63 庵本 (かなや接骨院)
21 武末 (東芝)		64 山本 (建築工業)
22 ○中野 (セコム)		65 莊司 (紀宝柔道会)
23 中島 (スポーツ会館)		66 ○古賀 (新日本製鐵・広島)
24 井上 (JFEスチール)		67 川北 (JFEスチール)
25 辻下 (日本エースサポート)		68 木村 (豊田自動織機)
26 梅津 (総合警備保障)		69 阪口 (ミズノ)
27 村田 (神鋼産業ソリューション)		70 鳥入 (近畿通関)
28 福路 (日体大柔友会)		71 赤坂 (関西学院柔道クラブ)
29 中根 (大京フーズ)		72 久保田 (総合警備保障)
30 米富 (新日本製鐵・広島)		73 花田 (アーバンセキュリティ)
31 馬場 (クラレ・岡山)		74 糺 (甲南柔友会)
32 石原 (アイシン精機)		75 大山 (福岡医療専門学校)
33 豊田 (国士舘柔道クラブ)		76 西村 (東京海上日動火災保険)
34 對馬 (セントラル警備保障)		77 ○篠崎 (了徳寺学園)
35 稲永 (かなや接骨院)		78 根本 (早稲田柔道クラブ)
36 坂内 (秋大柔道クラブ)		79 冷水 (豊田自動織機)
37 池野 (センコー)		80 下澤 (肥後銀行)
38 長光 (神戸柔道クラブ)		81 逸見 (セコム上信越)
39 横口 (了徳寺学園)		82 鈴木 (セントラル警備保障)
40 岩下 (豊田自動織機)		83 佐野 (日体大柔友会)
41 喜多 (大阪ガス)		84 竹内 (ミツウロコ)
42 松井 (京都医療専門学校)		85 大谷 (大阪ガス)
43 薬師神 (総合警備保障)		86 田畑 (センコー)
		87 和泉 (仙台大学柔道クラブ)

○印はシード選手

成績表

男子60kg級(41名)



○印はシード選手

成績表

男子22歳未満(59名)

1 ○吉 崎 (新日本製鐵・広島)	○	30 ○平 山 (セントラル警備保障)	○
2 佐 藤 (東日本旅客鉄道)	○	31 神 澤 (東日本旅客鉄道)	○
3 渡 辺 (まるや接骨院)	○	32 川 端 (吉川工業・名古屋)	○
4 城 戸 (クラレ・岡山)	○	33 岩 本 (新日本製鐵・広島)	○
5 山 田 (三菱重工・名古屋)	○	34 崎村栄 (戸高 鉱 業 社)	○
6 川 端 (関西医療学園)	○	35 高 野 (セコム上信越)	○
7 加 藤 (豊田自動織機)	○	36 日名子 (トヨタ自動車)	○
8 下田代 (豊田自動織機)	○	37 渡 邊 (クラレ・岡山)	○
9 奥 村 (ほのぼの会)	○	38 櫻 井 (日本貨物鉄道)	○
10 江 口 (アイシン精機)	○	39 庄 田 (長野刑務所)	○
11 佐 野 (総合警備保障)	○	40 佐 藤 (至勢会柔道クラブ)	○
12 高橋龍 (日本貨物鉄道)	○	41 木 藤 (東レ・滋 賀)	○
13 梶 原 (新日本製鐵・大分)	○	42 安 部 (アイシン精機)	○
14 大 桃 (セコム上信越)	○	43 杉 浦 (豊田自動織機)	○
15 林 (セントラル警備保障)	○	44 平 (十全会・聖明病院)	○
16 川 沼 (了徳寺学園)	○	45 大 野 (新日本製鐵・八幡)	○
17 柴 原 (新日本製鐵・八幡)	○	46 佐 藤 (日本貨物鉄道)	○
18 山 本 (高 宮 接 骨 院)	○	47 松 野 (神奈川ソリューション)	○
19 上 田 (十全会・聖明病院)	○	48 坂 井 (グリーンセキュリティ・ビス)	○
20 清 水 (東日本旅客鉄道)	○	49 濱 田 (錦秀会 阪和病院)	○
21 大 島 (セコム上信越)	○	50 大平野 (豊田自動織機)	○
22 齊 藤 (豊田自動織機)	○	51 榎 本 (了徳寺学園)	○
23 高橋慎 (日本貨物鉄道)	○	52 菊 池 (新日本製鐵・大分)	○
24 崎村和 (戸高 鉱 業 社)	○	53 藤 原 (まるや接骨院)	○
25 館 野 (日体荏原柔道クラブ)	○	54 山 富 (三菱重工・名古屋)	○
26 田 村 (東レ・滋 賀)	○	55 岡 本 (豊田自動織機)	○
27 牧 野 (ナチュラル)	○	56 坂 田 (十全会・国生病院)	○
28 小 野 (新日本製鐵・広島)	○	57 吉 田 (ゆうスポーツクラブ)	○
29 牧 平 (トヨタ自動車)	○	58 中 村 (日本エースサポート)	○
		59 渭 原 (東 芝)	○

○印はシード選手

成 績 表

女子78kg超級(13名)

1 ○馬 龍 (ほ の ぼ の 会)	○	杉 本	○	8 ○清 水 (ヤックスケアサービス)
2 松 村 (ヤックスケアサービス)	○	○	○	9 平 岩 (群馬総合ガードシステム)
3 中 井 (日本エースサポート)	○	○	○	10 相 原 (櫻 葉 倶 楽 部)
4 ○杉 本 (コ マ ツ)	○	○	○	11 ○長 須 (社会福祉法人神流福祉会)
5 山 本 (広島大学柔道クラブ)	○	○	○	12 比南原 (瀧 野 川 病 院)
6 都 丸 (群馬総合ガードシステム)	○	○	○	13 太 田 (北関東総合警備保障)
7 尾 方 (駒高高校柔道クラブ)	○	○	○	

女子78kg級(12名)

1 ○岡 村 (コ マ ツ)	○	鳥谷部	○	7 ○鳥谷部 (セ コ ム)
2 白 井 (立命館柔道クラブ)	○	○	○	8 森 田 (ほ の ぼ の 会)
3 田 渕 (東海旅客鉄道)	○	○	○	9 柴 野 (平成国際大学柔道クラブ)
4 ○池 田 (自衛隊体育学校)	○	○	○	10 ○岡 田 (三井住友海上火災保険)
5 長 瀬 (了 徳 寺 学 園)	○	○	○	11 北 田 (松前柔道クラブ)
6 山 本 (瀧 野 川 病 院)	○	○	○	12 近 藤 (ダ イ コ ロ)

女子70kg級(22名)

1 ○清 水 (三井住友海上火災保険)	○	今 井	○	12 ○植 木 (セ コ ム)
2 的 場 (近 大 ク ラ ブ)	○	○	○	13 島 本 (ヤックスケアサービス)
3 杉 野 (金沢学院クラブ)	○	○	○	14 森 (綾 羽)
4 熱 海 (ヤックスケアサービス)	○	○	○	15 石 森 (近 大 ク ラ ブ)
5 廣 吉 (龍 谷 ク ラ ブ)	○	○	○	16 小 寺 (京都医健専門学校)
6 今 井 (了 徳 寺 学 園)	○	○	○	17 上 野 (三井住友海上火災保険)
7 佐々木 (府 中 刑 務 所)	○	○	○	18 大 呂 (日本総合メディカル学院)
8 福 田 (ト ー エ ー 企 業)	○	○	○	19 山 本 (豊 田 自 動 機 械)
9 高 橋 (三井住友海上火災保険)	○	○	○	20 水 野 (ひらた 整 骨 院)
10 本 田 (日本文理大学クラブ)	○	○	○	21 黒 濱 (日 光 警 備 保 障)
11 松 原 (日東整請求サービス)	○	○	○	22 高 木 (龍 谷 ク ラ ブ)

女子63kg級(26名)

1 ○上 野 (三井住友海上火災保険)	○	上 野	○	14 ○堀 越 (セ コ ム)
2 竹 内 (瀧 野 川 病 院)	○	○	○	15 野 村 (ひらた 整 骨 院)
3 米 山 (ひらた 整 骨 院)	○	○	○	16 久 保 (ワイエスフード)
4 笠 原 (全国警備保障)	○	○	○	17 阿 部 (三井住友海上火災保険)
5 相 澤 (ヤックスケアサービス)	○	○	○	18 米 村 (肥 後 銀 行)
6 今 村 (M J C)	○	○	○	19 松 井 (丸 順)
7 長谷川 (高 宮 接 骨 院)	○	○	○	20 生 越 (横浜土曜柔道会)
8 中 田 (錦秀会 版和病院)	○	○	○	21 ○川 崎 (了 徳 寺 学 園)
9 宮 下 (日本一ソフトウェア)	○	○	○	22 田 渕 (東海旅客鉄道)
10 萩 原 (十全会・回生病院)	○	○	○	23 宮 本 (M J C)
11 天 野 (近 大 ク ラ ブ)	○	○	○	24 片 山 (ひらた 整 骨 院)
12 三 村 (ゆうスポーツクラブ)	○	○	○	25 吉 田 (高 宮 接 骨 院)
13 尾 上 (仁康会・小泉病院)	○	○	○	26 亀 田 (ヤックスケアサービス)

○印はシード選手

成 績 表

女子57kg級(23名)

1 ○岩 田 (コ マ ツ)		12 ○徳 久 (三井住友海上火災保険)
2 津 野 (ひらた 整骨院)		13 箱 田 (群馬総合ガードシステム)
3 佐 藤 (セ コ ム)		14 永 井 (京都医療専門学校)
4 岡 本 (瀬野川病院)		15 滝 口 (セ コ ム)
5 愛 場 (錦秀会 阪和病院)		16 中 川 (日本整請求サービス)
6 ○宮 本 (了徳寺学園)		17 石 井 (K-Refine)
7 峯 田 (セ コ ム)		18 ○河 田 (セ コ ム)
8 田 川 (京都医療専門学校)		19 石 井 (松前柔道クラブ)
9 南 雲 (群馬総合ガードシステム)		20 継 田 (自衛隊体育学校)
10 山 本 (肥後銀行)		21 ○宇 高 (コ マ ツ)
11 伊 福 (日本整請求サービス)		22 御 厨 (近大クラブ)
		23 田 渕 (総合警備保障)

女子52kg級(21名)

1 ○山 口 (金沢学院クラブ)		11 ○寛 藤 (ヤックスケアサービス)
2 武 田 (日本エースサポート)		12 大 川 (近大クラブ)
3 藤 井 (横浜国大柔友会)		13 小 島 (自衛隊体育学校)
4 児 玉 (K-Refine)		14 木 村 (日本ソフトウエア)
5 黒 田 (総合警備保障)		15 佐 野 (日本整請求サービス)
6 ○近 藤 (S・T・O)		16 ○岡 崎 (まるや接骨院)
7 橋 本 (ヤックスケアサービス)		17 佐 藤 (全国警備保障)
8 ○西 田 (了徳寺学園)		18 國 本 (シナノ企画)
9 永 井 (日本整請求サービス)		19 宇都宮 (M J C)
10 宮 本 (O J C)		20 松 村 (金沢学院クラブ)
		21 富 田 (松前柔道クラブ)

女子48kg級(18名)

1 ○宝 (コ マ ツ)		10 ○山 岸 (三井住友海上火災保険)
2 山 本 (日体荏原柔道クラブ)		11 提 箸 (北関東総合警備保障)
3 小 田 (マックススポーツ)		12 大 崎 (近大クラブ)
4 末 成 (横浜国大柔友会)		13 竹 本 (広島大学柔道クラブ)
5 ○上 原 (日本統合メディカル学院)		14 ○嶋 田 (平成管財)
6 新 井 (北関東総合警備保障)		15 矢 野 (K-Refine)
7 ○福 見 (了徳寺学園)		16 坂 崎 (龍谷クラブ)
8 平 野 (十全会・回生病院)		17 平 岡 (日本エースサポート)
9 長谷川 (東洋水産)		18 谷 本 (たんぼぼ助産院)

○印はシード選手



57kg級 宮本 優勢勝 宇高



81kg級 谷口 優勢勝 仲田



52kg級 近藤 優勢勝 小島



22歳未満 木藤 弘腰 吉崎

熱戦風景 2

第29回オリンピック競技大会 柔道競技 成績一覧表 (当連盟所属)

第29回オリンピック競技大会 柔道競技は8月9日から7日間、中国・北京で開催された。当連盟より男女全14階級のうち13名が日本代表として出場した。結果は以下のとおり。

階 級	選手名	会社名	成 績
100kg級	鈴木 桂治	平成管財(株)	1回戦敗退(敗者復活1回戦敗退)
90kg級	泉 浩	旭化成(株)	2回戦敗退
81kg級	小野 卓志	学校法人了徳寺学園	2回戦敗退
73kg級	金丸 雄介	学校法人了徳寺学園	7 位
66kg級	内柴 正人	旭化成(株)	優 勝
60kg級	平岡 拓晃	学校法人了徳寺学園	2回戦敗退
78kg超級	塚田 真希	総合警備保障(株)	2 位
78kg級	中澤 さえ	総合警備保障(株)	2回戦敗退
70kg級	上野 雅恵	三井住友海上火災保険(株)	優 勝
63kg級	谷本 歩実	コマツ	優 勝
57kg級	佐藤 愛子	学校法人了徳寺学園	7 位
52kg級	中村 美里	三井住友海上火災保険(株)	3 位
48kg級	谷 亮子	トヨタ自動車(株)	3 位

発行日 2008年10月10日
発行所 全日本実業柔道連盟
印刷 事務局 郷田博史
ダイコク株式会社